

共生社会の実現に向けた認知症当事者×企業の共創 オレンジノベーション・プロジェクト セミナーのご案内

- ・ 経済産業省では、「認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続ける」ことのできる共生社会の実現に向け、当事者の真のニーズに合致する製品・サービスの創出のため、当事者と企業が共創する「オレンジノベーション・プロジェクト（＝当事者参画型開発）」の普及に取り組んでいます。
- ・ 製品・サービスの開発段階から、当事者が主体的に参画することにより、当事者にとっては、自らが「ほしい」と思うものが形になって利用できる可能性があり、企業にとっても潜在的な利用者・顧客のニーズを把握して開発ができるメリットがあると考えています。
- ・ 日頃から当事者を支援している皆様（自治体・当事者団体・介護事業者等）を対象としたセミナーを開催予定です。
- ・ 認知症の人の社会参加にご関心をお持ちの自治体・地域包括支援センターのご担当者様、認知症地域支援推進員、若年性認知症支援コーディネーターの方、介護事業所の職員様等、ぜひご参加ください。

※本取組は、認知症イノベーションアライアンスワーキンググループの取組の一環として実施しております。

実施日	2025年5月20日（火） 13:00-14:00
開催方法	Zoomウェビナー 【ID】859 0156 7534 【Pass】202183 https://us06web.zoom.us/j/85901567534?pwd=0IXLK7jtGFIF8qpguhLGb8PXyJWbn2.1

時間	題目
13:00-13:05	開会挨拶
13:05-13:15	オレンジノベーション・プロジェクトの事業説明
13:15-13:30	パートナー団体の実践事例① 神奈川県大和市（自治体）
13:30-13:50	パートナー団体の実践事例② 池上長寿園（介護事業者）
13:50-13:55	質疑応答
13:55-14:00	事務連絡・閉会

当事者と企業の共創により開発された製品・サービス（一例）

YKK株式会社

誰でも開け閉めがしやすいファスナー



アデッソ株式会社

日付・曜日の表示が大きい
「デジタル日めくりカレンダー」



株式会社コスモテック

いつでもどこでもメモができ、自然に目に入
って思い出せる、手首に巻きつける
“身につけるメモ帳”「wemo」



出典：経済産業省「日本認知症官民協議会 認知症イノベーションアライアンスワーキンググループ 2024年度 第2回 資料3」

参画した当事者からの声（一例）

- 自分の経験を企業の製品・サービスの開発に役立ててもらうことで、社会とのつながりを保てていると感じた。
- 認知症当事者である、自分自身が必要とされている気持ちになるし、自分の生活をより豊かにするためにどのような製品が必要なのか改めて考えるきっかけにもなる。
- 企業の開発に自分が関わったことで「商品ができた、会社が変わった」という事実が非常に嬉しい。

お問い合わせ先：email：200010-dcp@ml.jri.co.jp

株式会社日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門（担当：高橋、岩附、石塚、福谷）